平成28年度 第2回国有林モニターアンケートの結果概要

四国森林管理局では、より一層「国民の森林」に相応しい国有林の管理経営を推進するため、地域の皆様に国有林モニターをお願いし、ご意見をいただくこととしております。

今回は「木材の利用」「森林の保護」「治山事業」について、国有林モニターの皆様にアンケートにご協力いただきましたので、その結果概要をご紹介します。

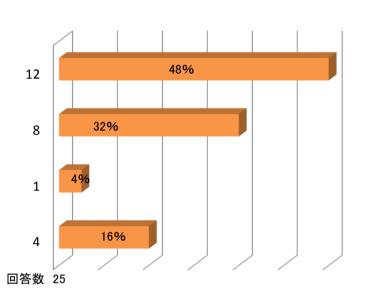
アンケートの結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めていく上での貴重なご意見として参考とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた国有林モニターの皆様、ありがとうございました。

○ 回答者数 モニター25名中 25名から回答がありました。

I 木材の利用について

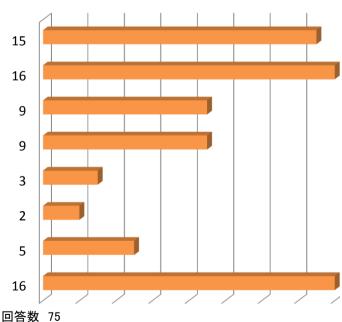
問1. あなたが今後、新たに住宅を建てたり、買ったりする場合、どんな住宅を選びたいと思いますか。

- ① 木造住宅 (昔から日本にある在来工法のもの)
- ② 木造住宅 (ツーバイフォーエ法など在来工法以外のもの)
- ③ 非木造住宅 (鉄筋、鉄骨、コンクリート造りのもの)
- ④ 分からない



問2. 仮に、木材を利用した住宅を選ぶ時は、どのようなことを特に重視しますか。(3つまで選んで下さい。)

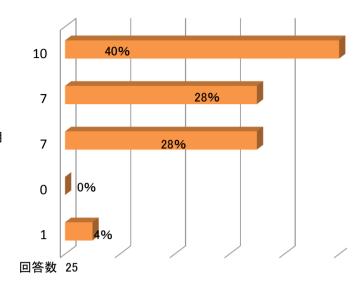
- ① 国産材が用いられていること
- ② 品質や性能が良く、耐久性に優れていること
- ③ 健康に配慮した材料が用いられていること
- ④ 使用する木材の種類や産地が明らかである
- ⑤ 植林や手入れが適切に行われている森林から生産 された木材が用いられていることが明らかであること
- ⑥ リサイクルしやすいなど環境に配慮した製品である こと
- ⑦ 価格が安いこと
- ⑧ 耐震性や耐火性に優れていること
- 9 その他 (回答 O)



問3. 資源である国産材の利用を進めるために、どのような分野に期待しますか。

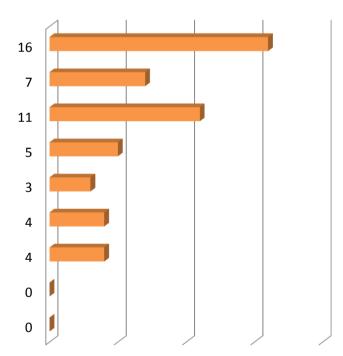
- ① 木造住宅の建築
- ② 公共施設等の木造化
- ③ 木質バイオマスなど、エネルギー資源としての活用
- ④ 紙製品の利用
- ⑤ その他

(・遊具やおもちゃ、家庭の浴槽などに活用)



問4. 国や自治体では、公共の施設や設備等への木材利用を推進しています。 (平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行。) あなたは今後、どのような施設に木材を利用していくことが望ましいと思いますか。(2つまで選んで下さい。)

- ① 小学校や中学校の校舎などの学校施設
- ② 病院などの医療施設や老人ホームなどの福祉施設
- ③ スポーツ施設、図書館や音楽ホールなどの社会教育施設
- ④ 駅などの公共交通機関施設や電車等の内装
- ⑤ 銀行やコンビニ等の民間施設建築
- ⑥ 幼稚園、保育園や公園にあるすべり台などの遊具
- ⑦ 花壇、柵やガードレールなどの道路沿いにある施設
- ⑧ 特に必要ない
- 9 その他

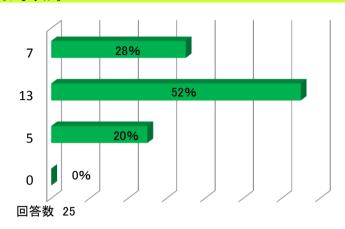


回答数 50

Ⅱ 森林の保護と利用について

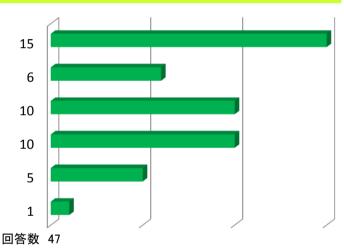
問5. あなたは、「保護林」という言葉を知っていますか。

- ① よく知っている
- ② 国有林モニターになって初めて知った
- ③ 聞いたことがある
- ④ 全く知らない



問6. あなたは今後、保護林を利用するとすれば、どのような利用を進めていくべきだと思いますか。 (2つまで選んで下さい。)

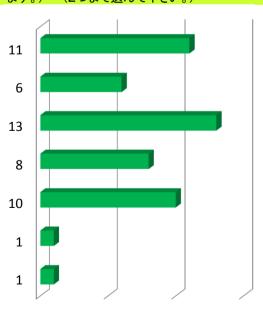
- ① 森林環境教育の場として利用する
- ② レクリエーションの場として利用する
- ③ 調査・研究の場として利用する
- ④ 地元や地域のPRとして利用する
- ⑤ 自然環境の保護・保全のため、利用すべきでない
- ⑥ その他(入山を規制する)



問7. 近年、ニホンジカによる森林や農作物への被害が問題となっていますが、この対策として特にどのような取組を 重点的に推進すべきと考えますか。(四国森林管理局においては、対策として、植生回復の取組やシカの侵入 を防ぐための防護柵設置、囲いわなの技術開発などを行っています。) (2つまで選んで下さい。)

- ① 県や研究機関、NPO等と連携し、ニホンジカの個体数や被害等の調査を行い、調査結果やその対策を話し合い情報を共有する
- ② ニホンジカ被害により林床植生が消滅した箇所へ広葉樹等を植栽するなど、植生回復を行う
- ③ 残存木のニホンジカ被害を防ぐため、防護ネットや樹木ガードを設置する場として利用する
- ④ ハンターによるニホンジカの個体数調整を積極的に行う
- ⑤ わなによる捕獲期間や箇所を増やし、ニホンジカの個体数調整 を行う
- ⑥ ニホンジカも森林生態系の一部であり、被害があっても自然の 推移に委ねるべきで、駆除すべきではない
- ⑦ その他

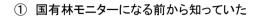
(・地域ごとに被害状況が異なるため、その被害に応じた対策をすべき。 また、被害がなくても対策、個体として確認をすべき。)



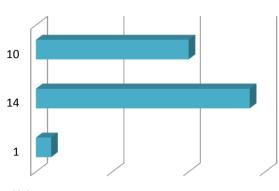
回答数 50

Ⅲ 治山事業について

問8. 四国森林管理局が国有林や民有林内において、山地災害の復旧等(治山事業)に取り組んでいることを知って いましたか。



- ② 国有林モニターになった後で知った
- ③ 知らなかった

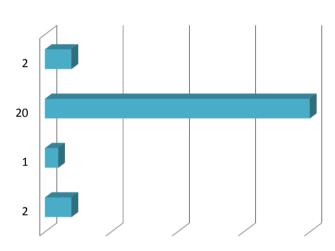


回答数 25

問9. 生活の安全・安心向上のため森林を管理していく上で、どのようなことに最も優先的に取り組む必要があると 思われますか。

- ① 災害により発生した崩壊地等の復旧整備
- ② 災害に強い森林を作るための間伐等の森林
- ③ 災害発生に備えるため、山地災害に関する危険 地区等の周知
- 4 その他

(・広葉樹林帯にする) |(・針葉樹林→広葉樹林への切替)

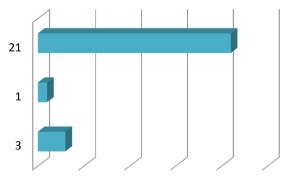


回答数 25

問10. 治山事業等では、谷止工や土留工等に木材を積極的に取り入れるなど、間伐材の利用促進等に取り組んで います。治山施設等に木材を利用することについてどのようにお考えですか。

- ① 積極的に木材を利用すべきである
- ② あまり木材を利用すべきではない
- ③ その他 間伐材を積極的に活用すべき 耐久性がないため

木に強度を持たせる加工をし、劣化後の修繕を計画的にするべき



回答数 25

Ⅲ その他

問11. 国有林モニター資料、HP掲載資料等で面白かったもの、分かりにくかったものを教えてください。 (2つまで選んで下さい。)

	面白かったもの	分かりにくい
モニターだより	3	1
グリーン四国	4	3
森からのおくりもの	5	1
次世代につなげる森林づくり	0	1
平成28年度四国森林管理局事業概要	1	8
林野庁情報誌「林野」	13	4
知ってほしい森と木のこと	7	1
「四万十川散歩マップ」	6	3
「四国の保護林」冊子	8	4
その他	2	0

回答数 49 回答数 26

問12. これまでのモニター活動で、森林・木材・国有林等に対する考え方が、変わったことが有りましたら教えてください。

- 〇 崩壊する所、地形は、少々の対策工事を実施しても必ず崩落する、あまり無駄な工事は止めて経費削減に努めて ほしい。(例、剣山の北側斜面、こりとり側)
- モニターになり、森林管理局が樹木を育てるだけではなく、多方面に活動されていることに大変おどろいています。
- 日本の国有林を後生の人たちに大切に残して行ってほしいものです。
- 近ごろは、身のまわりの物はほとんどプラスチック製などが主流で天然木のものはあまり見かけなくなってしまいましたが、食器やおもちゃなどこれからはできるだけ国産の木材製品を利用するよう心掛けたいと思うようになりました。
- 〇 現在、年2回程度の山のボランティアに参加していますが、四国の美しい森林を守るために、協力出来ることが あれば、積極的に参加したいです。
- 国土全体に森林が多いのに木材の活用がほとんどされていない現状を知ることができました。
- 今後も、極力、木製品の利用を生活の中で活用したい。
- 木材の新たな利用で、CLTが開発されている事に驚きました。
- 私の知らない世界がこれほどまでに沢山あったのか!?と今更ながらおどろかされ気付きと発見がありました。
- 国有林に関して、保全等が中心の「静」のイメージがあったが、いろいろな分野で新しい取組や活動がされていることが分かった。
- 国有林等の重要性が理解できました。
- ニホンジカ被害の現状を自分の目で見て、今まで報道から考えていたのとはあまりの違う現実でした。生きものの命と山や土地人の暮らしを守るという事には大きなギャップがあると知らされました。
- 山歩きが好きなので森林の大切さを一層強くしました。治山の方法も知る事ができて、山歩きの時、実際に見たりするとなるほどと思ったりします。
- 森林への接し方が、レクリエーション的な位置付けから学ぶ、知る、守る等生物の大きなライフサイクルの一環として 捉えるようになった。
- 日頃、森のことに余り関心が向かなかったが、モニターになり、森に目を向けるようになりました。
- 森林に関わる活動がたくさんあることを知ることができたので参加してみたいと思いました。
- 山村地区へ神事等の撮影に行った時、付近の裏山を歩くようになりました。国道の道からながめるだけでは分からなかった森林の荒れた状態が実感できるようになりました。
- 国有林を始め、森林を見つめ、利用することを我々自らが考えてゆく必要があると思った。
- 保護林が大正4年より発足しているのに感動。森林と植物を大切にする姿勢をたくさんの国民が理解し、山を荒廃

させないように努力しなければならなと思いました。

その他ご意見・ご要望

(主な意見)

- 伊勢神宮の材木利用(式年遷宮)について、公表されたら多くの方が驚くと思う。 ・特に鳥居等を全国の神社に回していることなど。
- 森林行政が、地球環境に大切なものであることを、もっと、一般国民に宣伝すべきと思います。
- 私は、木造作りの日本家屋に住んでいます。夏は涼しく冬は暖かいです。また、木は落ち着きがありほっとします。 もう一度日本人も木のぬくもりを感じてほしいものですね。
- 私は、里山程度の国有林のある環境で生まれ育ったので、考えが狭小ですが、子供の頃に見た自然の動・植物がなつかしく、あの頃の山の姿がよみがえる手立てがないものかと、何か少しでも自分に出来ることがないかと思っています。
- 人間も自然に被害を及ぼしている事を考えれば、シカも人間も同類である事が分かる。 そうであるなら、人間の立場だけを主張するのではなく、シカの立場も考え、自然を守るシカと人間の共生する方法 を考える必要があるように思う。
- その分野ではもちろん盛り上がっていると思うが、木材製品の利用促進、特に、「木づかい運動」などについて、社会 一般にはまだあまり浸透していないように思う。日本の未来に向けてすばらしい取組だと思うので、もっともっと国民 全体に向けてアピールすべきだと思う。
- 森や自然の大切さを力説する人は多いですが、はたして本当に考えていると言えるのでしょうか。
 海外からの安価な木材にはしり、使いすての様な家に住み、原因のひとつはやはり価格の様です。
 個人の住まい以前に、公共的なものにもっと木材の利用を考えて欲しいです。
 割りばし大好き派の私で購入には必ず国産と決めてますが、最近、日本のものが少ないのはどうしてでしょう。
- 石鎚山のこの鎖のトイレなどがきれいになりましたが、その前に廃棄物でしょうか、捨てられているように感じます。 回収にも大変な苦労があるとは思いますが、釈然としない気持ちです。